

2019 年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
07050101

1.計画名称

茅野市ICT活用戦略

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	令和元年度は、計画していた事業について、マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付を実施するなど、全体としてはおおむね順調に進行している。引き続き、着手している事業の着実な実施と計画中の事業については、実施方法等の検討を行う。
今後の重点化施策番号	1	説明	市民生活(特に子どもたちへの教育)の充実については、ICTを活用することによって、今後大きな効果を上げることができるのではないか、との視点から、市民生活、教育環境の充実・向上を重点化施策とする。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	市民生活・教育環境の充実・向上	おおむね順調	特別教室へ無線アクセスポイントを設置し、3人に1台程度の端末と大型掲示装置を導入したことで、これらを活用した新たな授業の展開ができた。 各講習会の内容を見直し、小学校先生向けプログラミング講座を開催した。	ICT教育の環境整備に向けて国でGIGAスクール構想の事業が予算化され、1人1台の学習用端末を想定した機器の導入検討とネットワークの高速化が必要。 市民(大人)むけ、情報リテラシー向上事業については引き続き内容検討する。	市民向けスマホアプリ導入については、引き続き、市民に提供できる内容を検討する。 各講習会については、市民組織・NPOと事業形態を含め、長期・短期に随時検討を進める。
2	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	おおむね順調	①コワーキングスペースの貸出しは満室状態を維持しており、デスクシェアや会議するについても稼働は順調に増加している。 ②理科大との連携による地域の課題解決に向けた研修開発を実施。多くの企業の参画により研究開発体制の構築が充実した。	①コワーキングスペースにおける包括的協定により学生の利用も増加しているが、地元企業と学生が関われる施設にすることが求められる。 ②実用化を見据えた研究開発をスピード感を持って推進することと事業の自立化の検討。	①全国的にテレワークやワーケーション等を推進する動きがあることから、地域でこの動きを推進する体制を構築する。 ②民間事業者と一体で進める体制を自立化させていき、生み出される成果の発信や人材育成等につなげる。
3	行政サービスの利便性向上、情報セキュリティの確保と業務効率化	やや遅れている	住民票・税証明などのコンビニ交付事業の本格実施。 引き続きペーパーレス会議システムの導入実施に向けての検討を行ったが予算化に至らなかった。 タブレット端末を利用した、農地パトロール及び転作確認システムにより遊休農地の把握が容易になった。	検討中の新規事業実施のための事業費確保。 住民票・税証明などのコンビニ交付に必要なマイナンバーカードのさらなる普及。	ペーパーレス会議システムの導入については、事業内容を再検討と事業費の確保。 マイナンバーカードの普及啓発活動の推進。
4	戦略的な情報発信とオープンデータの提供	おおむね順調	①インターネット動画は、ファンの多いコンテンツと広告の効果により再生回数が増えた。 ②SNSは八ヶ岳登山道整備のためのふるさと納税の広告により閲覧数の増加につながった。 ③ホームページがリニューアルオープンした。台風によりアクセス数が増加した。	①広告の効果により再生回数を増加することができたが、再生回数の少ないコンテンツの認知が必要。 ②市民特派員による効果的な情報発信の検討及びふるさと納税事業と連携した広告の活用を検討。	①企画・内容の精査を引き続き行い、さらなる認知向上を図る。また、SNSホームページからインターネット動画閲覧への誘導を図る。 ②SNSを活用した市外のユーザーに向けた更なるPRを行う。
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」